

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

DOYU 2010 July 7 Vol.528
MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE



夏の呼子大橋

特集 **生き残り** をかける業種別情報交換会 建設業関係



会員企業を一社も潰さない！
緊急アピールがきっかけに
——福田代表理事に聞く

社員との間に生じた溝を埋めたもの
退会してわかった同友会の真価

21世紀型 自立型企业づくり

株式会社 創美 代表取締役 須藤 英一郎氏



同友会
3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強靱な経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



佐賀県唐津市 夏の呼子大橋



なんばショット倶楽部
(有)ソレイユオフィス
木村 演良氏

c o n t e n t s

特集

生き残りをかける
業種別情報交換会 建設業関係 …… 3

21世紀型 企業づくり
社員との間に生じた溝を埋めたもの… 6

物づくり・人づくり・地域づくり①
安心を提供する緊急通報システム …… 9

シリーズ 中小企業憲章
「中小企業憲章」が閣議決定 …… 10

7月行事案内 …… 12

ようこそ同友会へ …… 14

第2回理事会報告 …… 15

Information

福岡 同友会が実施してきた政策要望・提言のうち
一定の成果を得られたもののまとめ

は福岡県として実現項目

年月	実現内容	2010年6月現在
2001年3月	「元気フクオカ資金」の創設(麻生知事より、2006年第18回経営者フォーラムにて発言。「同友会の提案を受けて創設した」)	
2002年4月	ベイオフ完全解禁2年延長が実現(但し、2005年4月より完全実施)	
2003年3月	地域密着型金融(リレーションシップバンキング)の機能強化にむけて、金融庁はアクションプログラムを策定。(「提供された情報は、将来的には、例えばNPO等の第三者機関が、中小・地域金融機関が果たしている地域貢献の状況について、利用者の立場から評価する際に活用するようになるとも考えられ」と金融アセスメント法の考え方に通じる。)	
2003年6月	金融検査マニュアル別冊・中小企業融資編が作成、発表。	
2006年4月	保証協会の補償を受ける場合、原則代表者のみの保証とし、第三者保証および担保は請求しない。	
2008年11月	金融検査マニュアルの改定(リスクをしても格付けを変えない)	
2010年1月	建築確認遅延問題について、申請から確認までの日数70日を35日に短縮	
2008年4月	特殊支配同族会社の役員給与の損金不参入措置について、凍結要望を出し、課税最低限度額が800万円から1600万円に引き上げ	
2010年4月	特殊支配同族会社の役員給与の損金不算入については、廃止	
2009年11月	県発注の公共工事については、県内企業優先、分離発注の要望を出し、県内公立高校のIT化にむけた入札では、大企業除外、県内の地域の企業にしぼった入札条件づけ。	
2010年2月	中小企業憲章制定にむけて、中小企業庁に研究会スタート(2010年をめどに制定)	

特集 生き残りをかける業種別情報交換会

建設業関係

去る4月13日(火)福岡同友会事務局会議室にて業種別情報交換会(建設業関係)が開催された。この呼びかけに36社40名の業界関係者が集まり関心の高さが示された。建築系交流の可能性を検証してみた。

大事。40名もの仲間を集めることができたのは上森氏の力が大きい。」と、振り返り今後に繋がる情報交換会ができたことに一定の成果を見出しました。さらに今後の展開に

会員企業を一社も潰さない！ 緊急アピールがきっかけに

福田代表理事に聞く

リーマンショックで世界経済が揺れた翌年の2009年



展望を語る福田代表理事

新春、福岡同友会では緊急アピールを採択し、会員企業を一社も潰さないという決意表明をしました。さっそく経営相談室を設け、経営に苦しむ会員企業にアドバイスを行なってきました。しかしながら、こうした努力の甲斐もなく廃業に追い込まれる仲間を見るにつけ、「何か手を打たねば」と正副代表理事会で考えたのが「同業種による情報交換会」だったのです。さっ

そく、理事会の承認を得て、福田代表理事、白石副代表理事が中心になり準備に取り掛かりました。折りしも、地球環境問題委員会が業界の注目が高いエコ住宅セミナーを開催したところで、末竹委員長、FASTの伊藤委員長も交えて経済産業省の松田課長を經由して、国土交通省九州地方整備局の上森康幹氏を訪ねました。今回の企画を上森氏も快く引き受けていただき「最近の建築住宅施策の動向」について話をしていただくことになりました。福田代表理事は「国がどのように考えているのか、30分の報告であったが、先端の情報を得ることは

触れ、一つはこの情報交換会で国交省とのパイプができたこと、2ヶ月に1回定期的はこの会を継続させること、会員同士得意分野を出し合い、お互いに「仕事をください」と本音で言える関係づくりをすることが急務と期待をこめました。さらに将来は共同受注をする、あるいは仕事づくりをする展開に期待を寄せています。そのためにも「お互いの強みを知り合うことが大事。これまで同友会は異業種の集まりに固執しすぎた面もある。それぞれの得意分野を出し合えば、いろんな可能性がでてくる。取り合えず1年間の中で可能性を探ってい

業種別情報交換会 の 目的

*業績回復

・業界の情報交換・仕事の情報交換

*「会員間のネットワークの強化経営課題解決」の実行

*「企業の社会的責任(CSR)」を果たすための実行

2010年度同友会運動方針からの可能性を考えてみる。

例)エコ住宅事業への着手や同友エコへの参画による企業イメージアップの差別化

きたい」と意欲的に語りまし
た。今回は建設業を行いまし
たがその他の業種について具
体案はあるのか聞いてみまし
た。「取り合えず建設業で成

果を出したい。その上で印刷
業やサービス業などへの展開
を考える」と、今回の企画に
確かな手応えを感じたよう
でした。

業種別情報交換会参加レポート

広報情報室 はまた 濱田 みつひろ 満広

生き残りのヒントを持ち帰れる会に

国の重点施策に焦点が

報告者として、国土交通省
九州地方整備局 建設部
住宅調整官 上森康幹氏を招
き「最近の建築住宅施策の動
向」という報告がありました。
その中で、国も住宅不況とい
うことを問題視しているよう
でした。

福岡県の住宅着工戸数は、
平成20年度は100,000
戸だったのが、70,000
戸まで落ち込んでしまった
データが示されました。建設
業界が不況だということは誰
も感じていますが、こんなに
落ち込んでいる事に、参加者

は驚きの声を出していました。

構造計算書偽造問題（姉齒
問題）から確認申請の厳格化
による着工件数の減少などあ
りましたが、現在の問題は日
本経済の不況による設備投資
の減少、消費者の買い控えに
よるようです。

そのような現状の中、報告
の中で注目されたのは、住宅
関係の各種補助金制度につい
てです。

国が示している五つの重点
的施策があるのですが、今回、
焦点をあてられたのは、「リ
フォーム・省エネ化の推進」
でした。

これは住宅の省エネ化を推



業種別情報交換会の様子

進し、CO₂排出を抑制しよ
うということです。

これを推進するため「住宅
エコポイント制度」が作られ
ました。エコ住宅の新築、エ
コリフォームに対して、ポイ
ントが与えられ商品や商品券
などに交換できる制度です。

車のエコ補助金のように、住
宅建築、リフォームを考えて
いる消費者を刺激するでしょ
う。平成22年12月までに着工

ということが条件のようです
が、環境問題と絡んでいます
ので、この制度は続けてほし
いところです。

14事業種36社40名の参加

（事業種数にはその他も含む）

同友会は異業種の団体です
が、建設業関係の経営者は多
く、今回の情報交換会にも40
名参加者がありました。

参加者の話を聞いてみる
と、全員に共通する悩みがあ
ります。

それは建設業界の冷え込み
がひどく、仕事の確保がむず
かしくなっていることだとい
います。それが、仕事の奪い
合いによる単価の低下を生
み、利益率が下がっているこ
とにつながっています。こう
いう状況からいち早く抜け出
さなければ、企業は体力を使
い果たしてしまい、やがて、
廃業へ追い込まれてしまいま
す。

参加者がこの情報交換会に
何を期待するのかというと、
「いろいろな業界の情報を得
たい」「建設関係なので仕事
のやりとりをする」「セミ
ナー的な勉強会を開催する」
などでした。

参加者は大きな期待をもっ
ています。

情報交換会は、年6回の開
催ということになりました。
今後は、情報交換だけではな
く、その中から何かを得て持
ち帰ることが出来る会になる
よう期待しています。

生き残りをかける業種別情報交換会

参加者の

こえ
声

(株)九州建産 (東支部)

取締役副社長 道田 嘉代子



この度の案内を拝見して、同友会では今まで無かったのをついた旬な企画でしたので、大変期待して参加しました。

国土交通省よりの講話で、数字の分析による現状の認識及び何をして貰えるかという話の中で、当社が欲しかった情報（九州地区における今後の工事情報等）が聞けなかったのは大変残念でした。しかし、今後も課題を持って国の機関（公的機関）からの講話は必須だと感じました。

私が予想外だったのは、参加者数の多さと皆さんの参加意識でした。今一番苦戦を強いられている業種で、元気がないのでは？との心配は杞憂でした。

少なくとも今回参加された方々は現状を認識した上で、前向きな取り組み姿勢の方が大半であったと非常に強く感じました。今後の参加が楽しみです。

(有)システムプラン (西支部)

代表取締役 森 良一



他支部はもちろん自分の支部でもその会社の本当の強み、主なる業務内容が理解されていないことに驚きました。当社は設備専門の設計事務所ですが一級建築事務所なので一般建築設計とされていたりしましたし、設備工事専門でも電気、給排水、空調、消防、プラントなどいろんな専門分野があったりします。それを確認することにより、その会社にあった仕事の紹介等が出来たり、また違う分野の情報を知ることにより自社の仕事内容を広げることが出来るような気がします。もっともっと回数を増やしてお互いの業務の繁栄に結びつけたいものです。同友会は素晴らしい会社ばかりです、他社の知恵、技術を身近な業種で「つないで」いければもっと良い会社になって行くことでしょ。

ナガタ建設 (株) (筑紫支部)

取締役 淀川 洋子



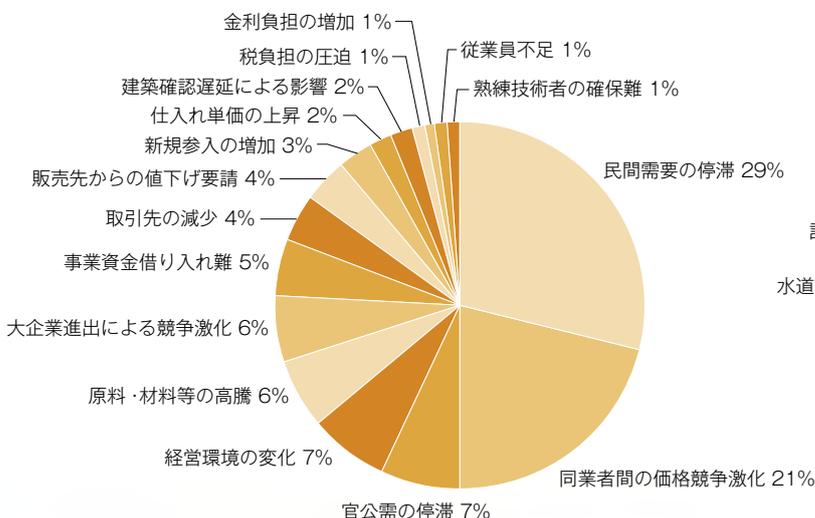
建設業界は不況の代表格といわれておりますが、参加した会員さんの中には元気な方もいて大変勇気をいただきました。

かねてより、今回のような同業種の集まりがないかと思っていました。「数は力」です。智恵を出し合い、得意技をコラボさせ、同友会発の「チーム」を結成して、新しい商品やサービスを作り出せないものでしょうか。

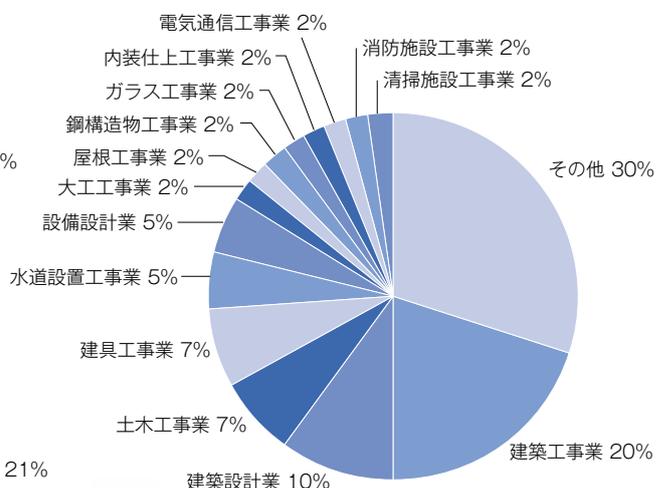
建設業は特に地域密着です。「地産地消」です。だからこそ同友会の存在意義を多くの方に知っていただきたいと思います。このような会の継続を強く希望いたします。

業種別情報交換会(建設業関係)アンケート集約

抱える問題 (全体)



事業種分布の割合



社員との間に生じた 溝を埋めたもの

退会してわかった同友会の真価

2度にわたり世界ラベルコンテスト最優秀賞を受賞し、今や業界で高く評価を受ける(株)創美。同友会の学びを生かし順調に業績を伸ばしていた時期に、実は社内で溝が生まれていたのです。

シール業界

「わが社はシールの仕事をしています」と切り出したのは、(株)創美の須藤英一郎社長です。「シールは糊の付いた印刷物で、特殊印刷のジャンルに入ります」。コンビニのおにぎりの「○○味」やスーパーでの「△△円引き」などの表示、携帯電話の製品表示など身の回りには実に多くの

シールが使われています。ただしシールはモノに貼られて初めて役割を果たします。例えば黒い液体が入ったビンが

あり、それは醤油なのか飲料水なのか、はたまた薬品なのか情報を提供するのがシールの役割です。安心・安全の重要な担い手といえるでしょう。また最近では個人情報管理に基づき、目隠しシールやきれいに剥がれるシール、2

度と付かないシールなど機能性を持ち合わせたものもあります。

経営危機に直面

昭和48年須藤さんの父親(つとむ)須藤氏が創美を創業。粘着シールの仕事を請け負っていました。イチゴやブドウのパック出荷に使われる糊の付いた透明フィルムは、その当時全国

corporate data

株式会社創美
創業/1973年11月
資本金/1,000万円
年商/2億円
従業員/社員8名、パート3名
住所/大野城市御笠川4-2-10

シェアの6割を占めていたといえます。一方、須藤さんは大学を卒業して、ガス会社に就職しましたが、多忙を極める実家から「帰って手伝ってくれ」との要請で、2年間東京の粘着紙メーカーで『修行』の後、同社に入社しまし

株式会社 創美

代表取締役

す どう えい いち ろう
須藤 英一郎 氏

福博支部

取材 情報室
文章 弘
写真 原 治
松木





た。入社当時は業績も順調に伸びており、営業活動しなくても仕事は切れ間なくありました。

ここで事件が起こります。創美の親会社が倒産し大手製紙会社に吸収され、ドル箱の果実用フィルムの商圏も失いました。さらに親会社の工場建設資金に貸していたお金も口約束のため相当額が返ってこない状態となりました。須藤さん自身は人件費減らしと将来が見えないため退職し、北九州の不動産会社に転職します。やがて務さんは体調を

崩し、2年後に今度は経営者という立場で再入社。平成9年のことです。「見る見る資産が減っていく中、いつ畳もうかということばかりを考えていました」と振り返ります。社長交代で社員もつぎつぎと辞めていきました。しかしまだ取引を要望してくれるお客様がいたので、できるところまで続けようと決めました。

同友会の学びの実践

「経営の『け』の字もわからずにいました」という須藤さんは、不動産会社時代の社長の勧めで同友会に入会し勉強します。まず取り組んだのは『ランチエスター戦略』でした。「今まで戦略など考えたことがありませんでした。いろんな仕事に手を広げることなく、『シール』に集中しました。そして『学び方を学ぶ』を実践していきました。同友会ではすぐに『役』を引き受けて様々な経営者との出会いを重めます。「会員さんから仕事をいただくこともあ

りましたが、日々の経営課題を『本音』で話せる仲間ができたことがとても大きかったです」と須藤さんは語ります。まさに同友会活動を自社で活かした例といえるでしょう。

社内でコスト削減を図る一方で、顧客の新規開拓を進めていきました。やがて銀行からの融資も取り付け累積赤字もクリアしてゆき、3年目には「とんとんにまで漕ぎ着けた」と言います。会社は黒字基調となり、順調になってきたと見えていました。

社員との間に溝が：

どん底を知る須藤さんは常に危機感を持っていました。世間ではプリンターの普及で印刷物の需要は減少し、シールも例外ではありませんでした。そこで須藤さんは売上の柱を作るべく、新商品開発に乗り出しました。手軽に自分でラベル印刷できるソフトの開発でした。結果的には費用対効果は出ませんでした。「経営者として『良かれ』と思っ

てやったことですが、『柱』にはなりませんでしたね。」

日ごろから社内では「経費削減」をいう社長が、独断で費用を使い、しかも成果に繋がらなかった。いつしか社員との間に微妙な『温度差』が生じてきました。さらに追い討ちを掛けたのが、実は同友会活動でした。業績の回復ができたのは同友会のおかげと自負する須藤さんは、会の中で様々な『役』を引き受けていました。「多いときは、副支部長・広報・異業種交流など週に5〜6日出ていましたね」。夕方、会社で出荷が忙しくなるのを横目に「じゃ、行ってくるね」と出かけるのでした。社員は不信感を抱くようになり、須藤さん自身も『溝』を感じていました。「社長の私ですら、会社に行くのが楽しくないと感じた日々でした」と語ります。

一大決心

そこで須藤さんは一大決心を図ります。それは「会社に



第17回世界ラベルコンテスト最優秀賞(上)と
第19回最優秀賞(左)受賞作品



2005年と2007年に受賞した
世界ラベルコンテスト最優秀賞の楯

専念すること」でした。まず同友会を退会しました。次に社員との風通しをよくすること、つまりコミュニケーションを重視しました。幹部に対して自分の考えを伝えていくミーティングを定期的を実施しました。そこで痛感したのは「理念の大切さ」でした。

自分自身が好きで始めた仕事ではなかった。しかし経営者がしつかりした考え、つまり「何のためにわが社は仕事をするのか」を社員に示さないと彼らについてはこない。改めて自社の存在意義を追求した須藤さんが辿り着いた理念は「お客様の『売れるお手伝い』をします」でした。自社の役割が明確になったことで、コミュニケーションはより具体性を持ち合わせ、溝は埋まっていきました。さらに社員は「仕事を通じて自己成長を目指す」とし技術の研鑽を深めるとともに、先の反省から「調和と革新のある企業」という文言も追加しています。理念は経営ツリーという形で経営指針書に明記され社内に浸透していきました。「経営指針書を成文化したことで、会社を次世代に繋ぐのが私の役目と考えています」と須藤さんはいいます。

社員のモラルの向上

理念の浸透は、具体的に

社員の行動にも現われきました。シールは機械があればできる仕事と思われがちですが、より精度をあげるために妥協しなくなつたといえます。和紙など凹凸のある面にズレやツブレの無い様にグラデーションを施す技術は、機械を扱う職人の熟練さが要求され見事にこなしています。同社では客観的な評価や社員のモラルの向上を目指してコンテストへ出展し、2005年と2008年には世界ラベルコンテスト最優秀賞受賞、同年国内シールラベルコンテスト協賛会会長賞に輝きました。

同友会復帰

そして5年前須藤さんは同

友会に復帰しました。「会社はよくなっていききました。しかし何か世界が狭くなったような気になりました。特に次の手を考えるとき本音で相談できる人がいないことに気づきました」。そこで出かけることを最小限にするという条件で同友会にカムバックしました。「なぜか今、支部長しています」と笑いながら話しながらも知れません。

自立型企業とは

取材の最後に須藤さんの考える『自立型企業』についてお伺いしました。「まず下請けではないことですね。ウチにとつては、お客様の意向を汲み取ってよりよい提案ができる『売れるお手伝い』ができることです。そして『さすが創美さんですね』といわれるような、お客様にとって唯一無二の存在になりたいですね」。

取材協力ありがとうございます。

物づくり、人づくり、地域づくり ①



安心を提供する緊急通報システム

福岡安全センター株式会社

代表取締役社長

内山 うちやま

守太氏 もりた

中央支部



内山 守太氏の福岡安全センターでは、高齢者や障害を持つ方々に緊急事態が発生したときのSOSに、24時間体制で待機する看護師をはじめ経験豊富なスタッフが、家族に代わって素早く的確に対応する健康・福祉型緊急通報サービスを福岡県・佐賀県・長崎県・大分県の4県で、展開されています。緊急通報サービスですが、日頃から、緊急状態にしないことが「命を護る」基本であると考え、日頃から「健康や精神的に気になること」のご相談をお受けして、緊急状態を未然に防ぎ、安心・安全と健やかな生活のサポートをされています。

安心・安全な生活の 基盤としての健康づくり

しかし、安心・安全な生活をするためには、緊急通報サービスだけではなく、身体機能や運動能力の向上が大切です。

5年前内山氏は、ジョギング仲間
の福岡大学運動生理学研究所の田

中宏暁教授から産官学連携のイベントに誘いを受けて、田中教授がニコニコベースの運動に取り組みされていることを知りました。

ニコニコベースの運動とは、「速筋」を使わず、「遅筋」だけを使う運動です。「速筋」は素早く体を動かすときに使われますが、持久力がなく、使うとすぐ疲れてしまいます。一方の「遅

筋」は持久力に優れ、疲れにくい筋肉です。ニコニコベースの運動には、スロージョギングと室内でもできるスローステップ運動があります。

スロージョギングは、ゆっくり走ることによって、「遅筋」だけを使います。歩く速さなら、ウォーキングでもよいと思われがちですが、スロージョギングの消費カロリーは、ウォーキングのなんと1.6倍！だから、ダイエットに抜群の効果がありません。また、続けるうちに、より長く早く走れる体に変わるといふ効果もあります。また、ジョギングには、ボケ予防によいという驚きの事実も、最近の研究で分かってきました。

ダイエット、メタボ改善、ボケ予防の3大効果のあるスロージョギングですが、「ジョギングなんて外に出るのがおっくう」「雨の日は走りたくない」「寒いから家にいたい」という人に



健康運動指導士 平尾 紀子氏
今年の東京マラソン 10位 (日本人5位)

おすすめなのが、家の中でも、簡単にできる「スローステップ運動」です。方法は20cmの高さの台を、ゆっくり昇り降りするだけ。「スロー」ペースなので、スロージョギングと同様に、持久力のある「遅筋」を主に使うため疲れずラクに続けられるのです。消費カロリーは1分間に80回のテンポでウォーキングの1.4倍。1分間に100回なら1.6倍ですから、スロージョギングに負けないメタボ改善効果があります。

スローステップ運動により、スタミナはもちろん、脚力、バランス能力が向上し、安全な生活を送れる身体機能と運動能力が身につくこと、さらに、運動習慣を身につけることで、「介護予防」「健康増進」「痴呆予防」「疾病予防」などの効果があり、医療費の大幅な削減ができています。

福岡安全センター株式会社
〒810-0001
福岡市中央区天神3丁目11-1
天神武藤ビル5F
TEL 092(7)11(7)795
FAX 092(7)11(7)258
<http://www.f-azen.com/>
E-mail: fukuoka@f-azen.com

取材・撮影：広報情報室 船木 治
一部写真提供：福岡安全センター株式会社

「中小企業憲章」が閣議決定

7年間の憲章運動の成果

6月18日、政府は「中小企業憲章」を閣議決定しました。私たち中小企業家同友会が7年前から取り組んできた中小企業憲章が、閣議決定まで到達したことを中小企業憲章制定運動の成果として率直に喜びたいと思います。2000年のEU（欧州連合）でのヨーロッパ小企業憲章制定から10年後に、閣議決定という形で、「中小企業憲章」が日本政府の方針となったことは誠に意義深いものがあると考え、ここにその全文を紹介いたします。この成果を新たなスタートとして、さらに「中小企業憲章」を中小企業全体、国民全体に広げ、日本に根づかせることに力を注ぎ、「中小企業憲章」を法律や政策の整備・具体化に活かしていく仕組みづくり取り組むことが重要な課題と考えます。

中小企業憲章 全文

平成22年6月18日 閣議決定
「中小企業憲章」を別紙のとおり定める。

中小企業憲章

中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である。常に時代の先駆けとして積極果敢に挑戦を続け、多くの難局に遭っても、これを乗り越えてきた。戦後復興期には、生活必需品への旺盛な内需を捉えることと

もに、輸出で新市場を開拓した。オイルショック時には、省エネを進め、国全体の石油依存度低下にも寄与した。急激な円高に翻弄されても、産地で連携して新分野に挑み、バブル崩壊後もインターネットの活用などで活路を見出した。

我が国は、現在、世界的な不況、環境・エネルギー制約、少子高齢化などによる停滞に直面している。中小企業がその力と才能を発揮することが、疲弊す

る地方経済を活気づけ、同時にアジアなどの新興国の成長をも取り込み日本の新しい未来を切り拓く上で不可欠である。

政府が中核となり、国の総力を挙げて、中小企業の持つ個性や可能性を存分に伸ばし、自立する中小企業を励まし、困っている中小企業を支え、そして、どんな問題も中小企業の立場で考えていく。これにより、中小企業が光り輝き、もって、安定的で活力ある経済と豊かな国民

生活が実現されるよう、ここに中小企業憲章を定める。

1. 基本理念

中小企業は、経済や暮らしを支え、牽引する。創意工夫を凝らし、技術を磨き、雇用の大部分を支え、くらしに潤いを与える。意思決定の素早さや行動力、個性豊かな得意分野や多種多様な可能性を持つ。経営者は、企業家精神に溢れ、自らの才覚で事業を営みながら、家族のみならず従業員を守る責任を果たす。中小企業は、経営者と従業員が一体感を発揮し、一人ひとりの努力が目に見える形で成果に結びつき易い場である。

中小企業は、社会の主役として地域社会と住民生活に貢献し、伝統技能や文化の継承に必要な機能を果たす。小規模企業の多くは家族経営形態を採り、地域社会の安定をもたらす。

このように中小企業は、国家の財産ともいふべき存在である。一方で、中小企業の多くは、資金や人材などに制約があるため、外からの変化に弱く、不公平な取引を強いられるなど数多くの困難に晒されてきた。この中で、大企業に重きを置く風潮や価値観が形成されてきた。しかし、金融分野に端を発する国際的な市場経済の混乱は、却って大企業の弱さを露わにし、世

界的にもこれまで以上に中小企業への期待が高まっている。国内では、少子高齢化、経済社会の停滞などにより、将来への不安が増している。不安解消の鍵となる医療、福祉、情報通信技術、地球温暖化問題を始めとする環境・エネルギーなどは、市場の成長が期待できる分野でもある。中小企業の力がこれらの分野で発揮され、豊かな経済、安心できる社会、そして人々の活力をもたらす、日本が世界に先駆けて未来を切り拓くモデルを示す。

難局の克服への展開が求められるこのような時代にこそ、これまで以上に意欲を持って努力と創意工夫を重ねることに高い価値を置かなければならない。中小企業は、その大いなる担い手である。

2. 基本原則

中小企業政策に取り組むに当たっては、基本理念を踏まえ、以下の原則に依る。

一、経済活力の源泉である中小企業が、その力を思う存分に発揮できるよう支援する

資金、人材、海外展開力などの経営資源の確保を支援し、中小企業の持てる力の発揮を促す。その際、経営資源の確保が特に困難であることの多い小規模企業に配慮する。中小企業組

合、業種間連携などの取組を支援し、力の発揮を増幅する。

二. 起業を増やす

起業は、人々が潜在力と意欲を、組織の枠にとらわれず発揮することを可能にし、雇用を増やす。起業促進策を抜本的に充実し、日本経済を一段と活性化

三. 創意工夫で、新しい市場を切り拓く中小企業の挑戦を促す

中小企業の持つ多様な力を發揮し、創意工夫で経営革新を行うなど多くの分野で自由に挑戦できるような、制約の少ない市場を整える。また、中小企業の海外への事業展開を促し、支える政策を充実する。

四. 公正な市場環境を整える

力の大きい企業との間で実質的に対等な取引や競争ができません、中小企業の自立性が損なわれることのないよう、市場を公正に保つ努力を不断に払う。

五. セーフティネットを整備し、中小企業の安心を確保する

中小企業は、経済や社会の変化の影響を受け易いので、金融や共済制度などの面で、セーフティネットを整える。また、再生の途をより利用し易いものと、再挑戦を容易にする。

これらの原則に依り、政策を実施するに当たっては、

●中小企業が誇りを持って自立することや、地域への貢献を始

め社会的課題に取り組むことを高く評価する

●家族経営の持つ意義への意識を強め、また、事業承継を円滑化する

●中小企業の声を聴き、どんな問題も中小企業の立場で考え、政策評価につなげる

●地域経済団体、取引先企業、民間金融機関、教育・研究機関や産業支援人材などの更なる理解と協力を促す

●地方自治体との連携を一層強める

●政府一体となって取り組むこととする。

3. 行動指針

政府は、以下の柱に沿って具体的な取組を進める。

一. 中小企業の立場から経営支援を充実・徹底する

中小企業の技術力向上のため、ものづくり分野を始めとする技術開発、教育・研究機関、他企業などとの共同研究を支援するとともに、競争力の鍵となる企業集積の維持・発展を図る。また、業種間での連携・共同化や知的財産の活用を進め、中小企業の事業能力を強める。経営支援の効果を高めるため、支援人材を育成・増強し、地域経済団体との連携による支援体制を充実する。

二. 人材の育成・確保を支援する

中小企業の要諦は人材にある。働く人々が積極的に自己研鑽に取り組めるよう能力開発の機会を確保する。魅力ある中小企業への就業や起業を促し、人材が大企業信仰にとらわれないよう、各学校段階を通じて健全な勤労観や職業観を形成する教育を充実する。また、女性、高齢者や障害者を含め働く人々にとって質の高い職場環境を目指す。

三. 起業・新事業展開のしやすい環境を整える

資金調達を始めとする起業・新分野進出時の障壁を取り除く。また、医療、介護、一次産業関連分野や情報通信技術関連分野など今後の日本を支える成長分野において、中小企業が積極的な事業を展開できるよう制度改革に取り組み。国際的に開かれた先進的な起業環境を目指す。

四. 海外展開を支援する

中小企業が海外市場の開拓に取り組めるよう、官民が連携した取組を強める。また、支援人材を活用しつつ、海外の市場動向、見本市関連などの情報の提供、販路拡大活動の支援、知的財産権トラブルの解決などの支援を行う。中小企業の国際人材の育成や外国人材の活用のための支援を進め、中小企業の真の国際化につなげる。

五. 公正な市場環境を整える

中小企業の正当な利益を守る法令を厳格に執行し、大企業による代金の支払遅延・減額を防止するとともに、中小企業に不合理な負担を招く過剰な品質の要求などの行為を駆逐する。また、国及び地方自治体が中小企業からの調達に配慮し、受注機会の確保や増大に努める。

六. 中小企業向けの金融を円滑化する

不況、災害などから中小企業を守り、また、経営革新や技術開発などを促すための政策金融や、起業、転業、新事業展開などのための資金供給を充実する。金融供与に当たっては、中小企業の知的資産を始め事業力や経営者の資質を重視し、不動産担保や保証人への依存を減らす。そのためにも、中小企業の実態に則した会計制度を整え、経営状況の明確化、経営者自身による事業の説明能力の向上、資金調達力の強化を促す。

七. 地域及び社会に貢献できるよう体制を整備する

中小企業が、商店街や地域経済団体と連携して行うものも含め、高齢化・過疎化、環境問題など地域や社会が抱える課題を解決しようとする活動を広く支援する。祭りや、まちおこしなど地域のつながりを強める活動への中小企業の参加を支援する。また、熟練技能や伝統技能の継承を後押しする。

八. 中小企業への影響を考慮し政策を総合的に進め、政策評価に中小企業の声を生かす

関係省庁の連携は、起業・転業・新事業展開への支援策の有効性を高める。中小企業庁を始め、関係省庁が、これまで以上に一体性を強めて、産業、雇用、社会保障、教育、金融、財政、税制など総合的に中小企業政策を進める。その際、地域経済団体の協力を得つつ、全国の中小企業の声を広く聴き、政策効果の検証に反映する。

結び

世界経済は、成長の中心を欧米からアジアなどの新興国に移し、また、情報や金融が短時間うちに動くという構造的な変化を激しくしている。一方で、我が国では少子高齢化が進む中、これからは、一人ひとりが、力を伸ばし発揮することが、かつてなく重要性を高め、国の死命を制することになる。したがって、起業、挑戦意欲、創意工夫の積み重ねが一層活発となるような社会への変革なくしては、この国の将来は危うい。変革の担い手としての中小企業への大きな期待、そして、中小企業が果敢に挑戦できるような経済社会の実現に向けての決意を政府として宣言する。

20

火 18:30—21:00

博多支部7月例会

- 天神ビル11F9号会議室 福岡市中央区天神2-12-1
0120-323-920
- 今回は、経済交流を目的とした例会のため、報告者はいません
- もういっぺん何の仕事か教えて！～BS(ビーエス)作戦～
- 今回の支部例会では、会員同士間で経済交流を図り、より深い関係を築きたいと思えます。自主・民主・連帯の中で、特に連帯の精神を尊重し、「あてにし、あてにされる関係」を構築していく一助になればという観点から企画しました。

20

火 18:30—21:00

玄海支部7月例会

- 都久志会館 401号会議室 福岡市中央区天神4-8-10
092-741-3335
- 黒木 義彦氏 株式会社黒木建設 代表取締役社長(玄海支部)
- 永続繁栄企業作りの為の「経営指針 NEO」
～経営計画書作成 15年の中から生まれた気づき～

20

火 18:30—21:00

久留米支部7月例会

- ハynesホテル久留米 福岡県久留米市天神町1-6
0942-32-7211
- 田村 信之氏・七條 友明氏・判田 隆典氏(久留米支部)
- 「発想の転換で自社商品・サービスを再発見!!」
- 各々の会社(業界)には提供する商品・サービスの性質上、特化し易いものとしにくいものがあります。そういう状況下では如何に工夫し他との差別を図れるかということが、商品・サービス販売の重要な部分となります。今回はこれらの事を如何に考え実践しているかを代表パネラーに語ってもらい、皆さんの会社での参考にして頂きたい。

21

水 18:00—20:30

福博支部7月例会

- I Pホテル福岡 福岡市博多区中洲5-2-18
092-262-1491
- 筑前 りょう太氏 NPO法人九州プロレス 理事長(福友支部)
- 経営者を元気にするバイ!
- 今回は幼い頃に出会ったプロレスに熱い情熱を注ぎ、やがてその憧れだった夢を見事に実現させた筑前りょう太氏の講演を通して、元気をもらい、幾度と無く挫折を経験しながらも常に高いモチベーションを維持してきた筑前氏の手法を聞きたいと思えます。

21

水 18:00—21:00

東支部7月例会

- ウィズザスタイル 福岡市博多区博多駅南1-9-18
092-433-3941
- 西藤 興治氏 エスエス産業株式会社 代表取締役社長(東支部)
- 時代の変化に伴い事業変革!!～成長企業への取組み～
- この大不況の中、様々な経営環境が変化していく中、時代の変化に伴い会社も変革・改革を必要とされています。そんな時代の中、事業変革をし続け、戦い続け、そして利益を出し続けるパワーあるエスエス産業(株)西藤社長に報告いただきます。

24

土 18:00—20:30

大牟田支部7月例会

- (株)坂口建設産業北磯事務所駐車場(集合)
大牟田市北磯町3-1 0944-41-2370
- おおむた「大蛇山」まつり振替

26

月 18:30—21:00

有明支部7月例会

- ブラウンシュガー 柳川市三橋町下百町6-9
0944-75-6157
- 金川 俊一氏 有限会社ビッグロード 代表取締役(東支部)
- 社員教育について
- 今回は社員教育について報告していただきます。美容業という、人が人にサービスをする仕事において、社員教育は重要です、どのように理念を伝え、具体的に仕事に生かしていくのか、日々の実践について報告をうかがいます。

27

火 18:30—21:00

企業連携推進委員会
FAST7月例会

- 福岡県中小企業振興センター 302会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
- 栗原 智幸氏 福岡県商工部 新産業・技術支援課 係長
- 産業デザインと企業イメージ
- 崎田 正司氏 有限会社野菜王国 代表取締役(南支部)
- まちの居酒屋からうまれた“自然薯おまかせとろろ”大反響!

お申込み、お問い合わせは、e.doyu
もしくは、同友会事務局までお願いします

e.doyu アドレス▼

<http://e.doyu.jp/fukuoka/>

同友会事務局 本部 TEL092-686-1234

北九州地区センター TEL093-551-3111

* ID、PWをお忘れの方は事務局までお問い合わせ下さい。

DOYU BOOKS

21世紀型企業づくりへの挑戦
企業変革支援プログラムステップ1 (入門編)

このプログラムは、同友会の「3つの目的」や「中小企業における労使関係の見解」「21世紀型中小企業づくり」のエッセンスを抜き出し、それらを企業変革のために必要な重要要素として整理分類し、自社の成長発展を図る物差しとして使えるよう、まとめ上げたものです。

内容は、経営者の自己診断のみならず、経営幹部や社員とともに自社分析をし、互いに認識の違いを理解し合う、「全社一丸の経営」に導く内容となっています。

仕様/A4判 65ページ

頒価/1,000円

発行/中小企業家同友会
全国協議会

お求めは同友会事務局まで

お知り合いの方を誘って、是非ご参加下さい

8

木 13:00-7月9日(金)12:00

西支部7月例会
(中同協 全国総会振替)

- 大分県別府市
- 時代の変化に伴い事業変革!! ~成長企業への取組み~
転換点、ゆるぎない経営基盤を確立し、歴史を創る同友会運動を!
- 中小企業家同友会全国協議会 第42回定時総会振替

9

金 18:30-21:00

かすや支部7月例会
(ブロック会振替)

- NECPCカレッジ 糟屋郡須恵町佐谷355-2
092-931-0131
- 百田 輝子氏 NEC PC カレッジ 取締役(かすや支部)

10

土 9:00-18:00

福岡地区経営指針作成
『あすなろ塾(福岡会場)』

- 福岡県中小企業振興センター301B会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
- 経営の基礎知識を学習する1日セミナーです。
経営指針書は企業の進むべき方向を明確にし、全社一丸の体制を築き上げます。

14

水 18:30-21:00

北九州支部7月例会

- ホテルクラウンパレス北九州
北九州市八幡西区東曲里町3-1 093-631-7725
- 吉田 豊博氏 吉田設計株式会社 代表取締役(中央支部)
- 地域と共に成長する企業を目指す
~今まで知らなかった同友会の学び方・活かし方、良く解ります!~
- 地域と共に、同友会理念を実践する。今、あなた様に出来る実践とは?学びが活かされているか?ではどんな実践方法があるのか、吉田氏の知恵と行動力に学ぶ。

15

木 18:30-21:00

筑紫支部7月例会

- 筑紫野市生涯学習センター 筑紫野市二日市南1-9-3
092-918-3535
- 岡島 秀宣氏 日本政策金融公庫 監査役
- 金融機関は中小企業の決算をこう見ます
- 信頼性が高い決算書の重要性

15

木 18:30-21:00

福友支部7月例会

- IPホテル福岡 福岡県福岡市博多区中洲5-2-18
092-262-1491
- 山川 高浩氏 博多引越本舗(福友支部)
- 業績向上は社員の力(仮)

15

木 19:00-21:00

青年支部7月例会

- 都久志会館 福岡市中央区天神4-8-10
092-741-3335
- 矢下 善生氏 株式会社樽味屋 代表取締役
- 物語は8万円から始まった

15

木 18:30-21:00

嘉飯支部7月例会

- ことぶき会館 飯塚市片島1-7-62 0948-225138
- 玉置 一貴氏 株式会社玉置 取締役(嘉飯支部)
- 後継者にたちはだかる高い壁と将来への展望
~逆境にも負けない強い会社を目指して~

15

木 18:30-21:00

ひびき支部7月例会

- ニューハートピア 北九州市八幡西区岡田 10-10
093-645-0012
- 中村 高明氏 株式会社紀之国屋 代表取締役会長(筑豊支部)
- 会社の成長と生き残りを懸けた同友会理念の実践
~オイルショック、バブル期を生き抜いた企業に学ぶ~
- 6月例会の同友会理念と3つの目的に続いて、その実践編として自社の経営と同友会活動、経営指針の活用をテーマにお話ししていただく予定です。

16

金 18:30-21:00

中央支部7月例会

- 都久志会館大会議室 福岡市中央区天神4-8-10
092-741-3335
- 河原 成美氏 株式会社力の源カンパニー 代表取締役
- 変わらないために変わり続ける!
- 世界をまたにかけて飛び回る超多忙な河原氏が同友会の為にお時間を割いて下さいました。めったに福岡での講演はないのでこの機会をお見逃しなく!
今なお現場の実践者であり、福岡の企業を街を元気にしたい熱い思いを語って頂き、閉塞感の時期に真摯に学ぶ事が多くあると思います。

16

金 18:30-21:00

南支部7月例会

- アークホテル博多ロイヤル 福岡市中央区天神 3-13-20
- 平川 雅樹氏 有限会社アサム 代表取締役(南支部)
- コネなし、カネなし、技術なしからの8年
~とっとと通信が私の会社を救ってくれた!~
- 15年間務めた会社を辞め、今から8年前、畑違いであるインターネット業界にて起業。当然失敗の連続だったが、とある広報活動をきっかけに会社は軌道に乗り始める。お客様からの信頼を勝ち得、売り込まなくても売れるようになった過程と自らの意識変容。「ニュースレターはお客様との絆を作ることができる」と気づかされた経営体験を報告!さらに同友会の活動で再確認した、顧客維持の考え方とは?

16

金 18:30-21:00

筑豊支部7月例会

- 直方商工会議所会議室 直方市殿町7番50号
0949-22-5500
- 有田 栄公氏 有田電器情報システム株式会社 代表取締役社長(筑豊支部)
- WEB力、免許皆伝 ~モノは売れるな、考え方を売れ!~

17

土 13:00-18:30

新会員フォローアップセミナー

- 福岡県中小企業振興センター 501会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15
- 同友会の歴史と理念、経営指針の重要性など、新会員向けの同友会活動をわかりやすく説明する導入セミナーです。

welcome

ようこそ同友会へ

Make Good Company
Become a better manager
Make better business environment



株式会社バリュー・クリエイション

全国のオートオークション会場よりお客様のご希望に合った中古車をお探し致します。

北九州市小倉北区上到津3-1-10 2F
電話 093-647-9981
FAX 093-647-9982

代表取締役 うえむら よせふ 上村 与世扶 北九州支部

株式会社バリュー・クリエイションの上村です。当社は中古車オークション代行という無在庫による中古車販売を行っております。同友会へ入会したことにより、ご紹介頂いた専門家との個別相談などによって、中断していた経営革新の申請が無事行えたことを感謝しております。同友会で築いた人脈や学んだことを活かし、今後とも一人前の経営者として成長していけるよう頑張ります。



株式会社GRACE CREA

主婦マーケティング・セールスプロモーション・イベント企画・スクール運営

福岡市中央区大名1-9-7-606
電話 092-732-6732
FAX 092-531-3896

専務取締役 なるみ なおみ 鳴海 直美 福友支部

同友会の皆さんは明るく前向きで親切にいろいろ教えて下さるので、大変勉強になっております。女性ならではの視点や心配りを活かして、他の企業様や社会に広くお役に立てればと考えております。よろしくお願いたします！



然総合管理株式会社

分譲マンションの管理委託業ならびに管理業務の適正化の提案・管理費等削減の提案。

福岡市中央区薬院1-6-9 3F
電話 092-712-7772
FAX 092-712-7757

代表取締役 わかな まさたか 若菜 正高 南支部

昨年11月に南支部に入会しました、然総合管理株式会社の若菜正高です。分譲マンションの管理会社を運営しています。経営者として自身に必要なスキルを身につけたく、学びの場を常に求めていましたところ、同友会を株式会社ユニバーサル通商の金本社長にご紹介いただきました。金本社長には本当に感謝いたしております。この感動を今後多くの仲間に伝え共有することが出来ればと思っております。



きたはら社労士事務所

労務管理、人事、社会労働保険等の手続代行、相談、指導。

福岡市東区三苫5-1-7
シティライフ三苫305号
電話 092-607-2406
FAX 092-607-2409

後継者 きたはら あきのり 北原 明典 中央支部

皆さんこんにちは！
今年の1月に同友会中央支部に入会した、きたはら社労士事務所の北原明典です。
当事務所は東区三苫にありますが、実家は志賀島です。カブト虫を捕りに山へ、魚釣りに海へと毎日が冒険のようでした（笑）
社労士になった今も、冒険心、探究心を忘れず、出会えた方々のプラスになるように同友会を楽しみたいと思います。よろしくお願いたします。

2010年度 第2回理事会報告

■日時：2010年6月9日(水) 14:00～16:15

■会場：福岡県中小企業振興センター 501

■出席：49名(欠席委任30) 出席率62.0%

■議長：阿比留副代表理事

■開会あいさつ(岩本代表理事)

突然の首相交代に際して、同友会に対してマスコミ取材が2件あった。ますます注目度が高まっていると思う。そういう意味でも理念にもとづく、きちんとした議論と、内容ある審議をお願いしたい、とあいさつがありました。

審議事項

(1) 入会・退会等審議

入会12名、退会31名、除籍1名。6月理事会確認会員数2,086名の会員数を承認しました。また、移籍12名の報告がありました。

(2) 第48回総会に対する質問、意見への最終報告

質問者の氏名をはずし、質問の項目別に区分し、改善検討事項を加えた文書を承認しました。今後、各地区会各支部の役員会等で報告すると共に、全会員に告知していくことを確認しました。

(3) 理事交代

県南地区副幹事長について、古賀 豊美氏から、濱田 満広氏(濱田設備 代表者 大牟田支部)への交代を承認しました。

(4) ブロック活動費の支出について

未来展望プロジェクトにおいて、方向を出すまでの間、当面「ブロック活動費補助は、各ブロック月1回を基本とする。尚、他ブロックに出席した会員も補助対象とする。」ことを確認しました。

(5) 宮崎県「口蹄疫被害」への義援金のよびかけについて

福岡同友会全体で、呼びかけることを承認し、6月末をめどに、支部例会、その他各行事で会員に義援金協力を、文書も作成して訴えることを確認しました。

(6) 2011年度役員選考委員長の選任

役員選考規定にもとづき、船山 稔氏が正副代表理事会より推薦され、役員選考委員長として承認されました。

協議事項

(1) 2010年度活動推進のための具体化

①推進組織と活動の検討項目、スケジュール
前回理事会で提起され、協議が行われたことを受けて、改めて、「推進組織が検証も行う」ことが提起されました。また、検証項目を8月末までに推進組織で話し合い実行してもらうことと、10月までの活動の総括を11月理事会で行うことも提起されました。

②会員増強の課題検討

2010年度運動方針において、運動課題の最重点として「会員増強」を掲げている。活動項目として、地区や支部で具体化することと分けて、正副代表理事会および理事会で具体化

することとして、「他団体との連携」「地場中堅企業へのとりくみ」「農業法人へのとりくみ」「関連企業のつどい(業種別会合)」「空白地域への支部づくり」「対外広報対策」の6項目を提起しました。

正副代表理事会での協議を提起し、理事会として協議を行いました。次回理事会にてさらに協議をし、具体化することとしました。

(2) 活動の具体化と進捗状況

①各本部の課題検討

●会員増強戦略本部

全県決起集会の結果報告と増強推進のうごきづくりが提起されました。

●中小企業憲章推進本部

国での中小企業憲章制定の動きが報告されました。

②室、委員会の課題検討

●政策金融室

第72回景況調査結果報告「やや持ち直し感はあるものの、未だ先行き不安!」と報告がありました。

国への政策要望提言およびその実現事項の報告がありました。主な実現項目は以下の点です。

○「景気対応緊急保証」を創設し、対象業種を原則全業種に拡充

○特殊支配同族会社役員給与の損金不算入措置を廃止

○中小企業憲章の制定は実現へ

●役員研修大学

第14期役員研修大学(8月21日～22日)の実施および参加呼びかけが行われました。

●広報情報室

7月号より、月刊同友の紙面を、読まれる情報誌づくりをめざして刷新することが報告されました。

●地球環境問題委員会

エコテクノ(10月13日～15日・西日本展示場)出展案内が行われました。

(3) 未来展望プロジェクト第3回会議報告および討議

各チームリーダーより、第3回の会議報告が行われ、協議しました。出された意見は各チームで検討することとしました。

(4) 中同協関係

①第4回九州沖縄ブロック支部長・支部活動研修交流会のまとめと今後のブロック活動
全体で128名、福岡同友会58名の出席だったと報告がありました。

今後のブロック活動として、各県の経営者フォーラム(経営研究会)の内容を九州沖縄全体で見られるようにHPをつくること、2011年九州新幹線全面開通を期して、来年の支部長交流会の中で、新幹線開通をテーマにした学習討議の場を作ることを検討したいと報告されました。

②中同協：第15回障害者問題全国交流会およ

び第42回定時総会への参加

6月18日～19日、障全交(沖縄)に現在12名の参加、7月8日～9日定時総会(大分)に現在54名の参加となっており、さらに参加を呼びかけてほしいと要請がありました。

報告事項

(1) 第48回定期総会経費報告

資料に基づいて報告がありました。

(2) 会員企業のうごき

2010年5月の経営革新認定企業報告がありました。(株)シーマネージ(南 史聡氏)と(株)デリス(井土 朋厚氏)の2社の会員企業が認定を受け、236社となりました。(県では2657社)

(3) 対外活動

①前回理事会以降の対外的な活動の報告がありました。

②対外的に要請があった委員等の就任について、以下の通り報告を行いました。

●福岡県中小企業振興センター評議委員

<堺 光則氏>(継続)

●NPOとボランティアと企業、行政との実践会議委員<中村 高明氏>(新規:推進委員会より継続)

●福岡男女共同参画センター『あすばる』より、『あすばる男女共同参画フォーラム2010』実行委員<明石 智津子氏>(新規)

③他団体への後援依頼(第22回経営者フォーラム)(確定および予定を含む)が報告されました。

「九州経済産業局」「福岡県」「福岡市」「(財)福岡県中小企業振興センター」「福岡県中小企業団体中央会」「福岡県商工会連合会」「(財)中小企業診断協会 福岡県支部」「日本経済新聞社西部支社」「西日本新聞社」

(4) 行政機関・他団体より案内、広報依頼について以下の項目、内容を報告がありました。

●福岡県雇用対策協議会:高校教員と地元企業の交流会ご案内

●福岡県環境部:「エコアクション21導入セミナー」への呼びかけ依頼

●福岡県新社会推進部:「第9回福岡県男女共同参画表彰」候補企業の募集

●環境省地球環境局:「平成22年度オフセット・クレジット全国説明会-新たな温暖効果ガス排出削減プロジェクト等の開拓と支援事業(補助金)の公募」

●シルバー人材センター:「シニアワークプログラム事業」「シニア就業支援プログラム事業」

閉会あいさつ(福田代表理事)

活発な討議が行われ、貴重なご意見を頂きましたとのお礼のことばで、閉会しました。

ご協賛・ご協力のお礼とご報告

この度は「福岡フレンドシップフェスティバル2010」盛大に開催され無事成功裡に終了することが出来ました。皆様方のイベント開催へのご支援・ご協力にあらためて感謝申し上げます、お礼とご報告とさせていただきます。

フレンドシップフェスティバル実行委員会（青年支部）

実行委員長・第30代青年支部長 山川 輝樹

青年支部一同



Prointec Professional Insurance Technicians

取締役 古賀 亮徳

株式会社プロインテック
〒812-0861 福岡市博多区浦田1-19-17
TEL092-513-9533 FAX092-513-9534
携帯電話 080-8415-4756
E-mail prointec@mirror.ocn.ne.jp

Comipura **SoftBank**

代表取締役
時枝 憲司
Kenji Tokieda

ソフトバンク モバイル一代理店
株式会社 コミプラエージェント
〒815-0041 福岡市南区野間3-7-9-102
TEL 092-511-7766 FAX 092-985-6204
E-mail: cae33930@hyu.bbq.jp

Flower gift

花神社 HANA JINJYA

花神社 代表 吉村 和義
KAZUYOSHI YOSIEDHIRA

〒819-1313 福岡県糸島市志摩船越 146-1 TEL. 092-327-0600
090-8835-7394 FAX. 092-327-0600

<http://www.itoshima.co.jp>

北伊醤油 醸造元

御中元・御歳暮も承ります

福岡県糸島市志摩船越84
TEL 092-33282204

Club **Romanee**

代表 竹下 典子

洗練されたキャストと高級感あふれる店内でくつろぎのひと時をお過ごし下さい。ご来店の際、お電話頂けますと同友会会員価格にてご利用できます。

クラブ ロマネ
福岡市博多区中洲2丁目8-2 パインコート中洲5F
TEL 092-263-6286

やきとり・居酒屋 **安兵衛** 博多店

Tel 092-292-6603

博多駅前3-10-2 ウーブル博多 1F

青年支部 佐田 将暢
Sada Masanobu

福岡県中小企業家同友会 広報情報室 「月刊 同友」編集部
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号
福岡県中小企業振興センタービル11F TEL 092-686-1234 FAX 092-686-1230

<http://www.fukuoka.doyu.jp/>

福岡同友会 検索

月刊 同友

2010年7月1日(毎月一回)1日発行

平成9年3月14日第3種郵便物認可
頒価/380円(年間4,500円)送料込(会員の購読料は会費に含まれます。)